



## スポーツ競技で全国そして世界へ

## 精神障害

スポーツ競技大会：精神障害クラブチーム・スポーツ競技団体（活動の継続・人材育成等）  
精神疾患・精神障害：スポーツ競技大会：地域クラブ・事業所・デイケア等：自立支援医療・手帳

### ■フットサル： ソーシャルフットボール協会（HP あり）

クラブ競技大会⇒広域・オープン競技大会⇒全国大会 2024.4 佐賀大会⇒**国際大会 2025.1 予定**

\* 日本障がい者サッカー協会（JIFF：HP あり；7 団体）加盟団体 \* 国際ソーシャルフットボール（精神）

### ■バスケットボール； ソーシャルバスケットボール協会（HP あり）

各地でラウンド（クラブ競技大会等⇒広域・全国の競技大会⇒**台湾・アジアとの交流**

### ■多様なスポーツ競技【全国大会そして世界・国際大会へ（全国団体の組織化で）】

・ バレーボール競技大会（全国団体組織化準備へ）

オープン競技大会（クラブチーム：広域）⇒名古屋・東京 2024.8 予定・埼玉・福井・・・⇒全国⇒世界へ

・卓球競技大会

・その他の種目のスポーツ競技大会

★関連：日本スポーツ精神医学会（HP あり）

一般のスポーツ競技大会

地域スポーツクラブ・生涯スポーツ・趣味で楽しく(^^♪

## 「全国障害者スポーツ大会（全スポ）」

## 障害者スポーツの全国的祭典

大会目的：スポーツの楽しさ体験、国民の障害理解、障害者の社会参加の推進

\* 競技大会ではありません

### 「障害者」（身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳が原則）

障害者手帳で選手資格を確認（住民票所在地からの出場：税金公費） ・ 13 歳以上

施設とは、障害者の社会福祉施設

全国障害者スポーツ大会は、毎回新しい人の参加を推奨（予選会 1 位の方が参加とは限りません）

団体予選大会で負けたチームの選手は、その年に他のチームからの出場ができません

団体は都道府県・政令市の代表チーム（地域全体の選抜チームが望ましい）

\* 全スポ 14 競技中で個人卓球、団体バレーボールの 2 競技しか「精神障害者」は参加できていません

都道府県・政令指定都市の手帳数で各選手団の人数が配分され、都道府県代表として参加

指導者は「公認パラスポーツ指導員（初級、中級）」資格の取得が望まれる

「全国障害者スポーツ大会競技規則集」を良く読んで大会に参加しましょう

地域・事業所等で余暇活動・楽しくスポーツ(^^♪

精神科リハビリテーションからスポーツでの社会参加



## 障がい別・種目別国際競技団体等との関係

